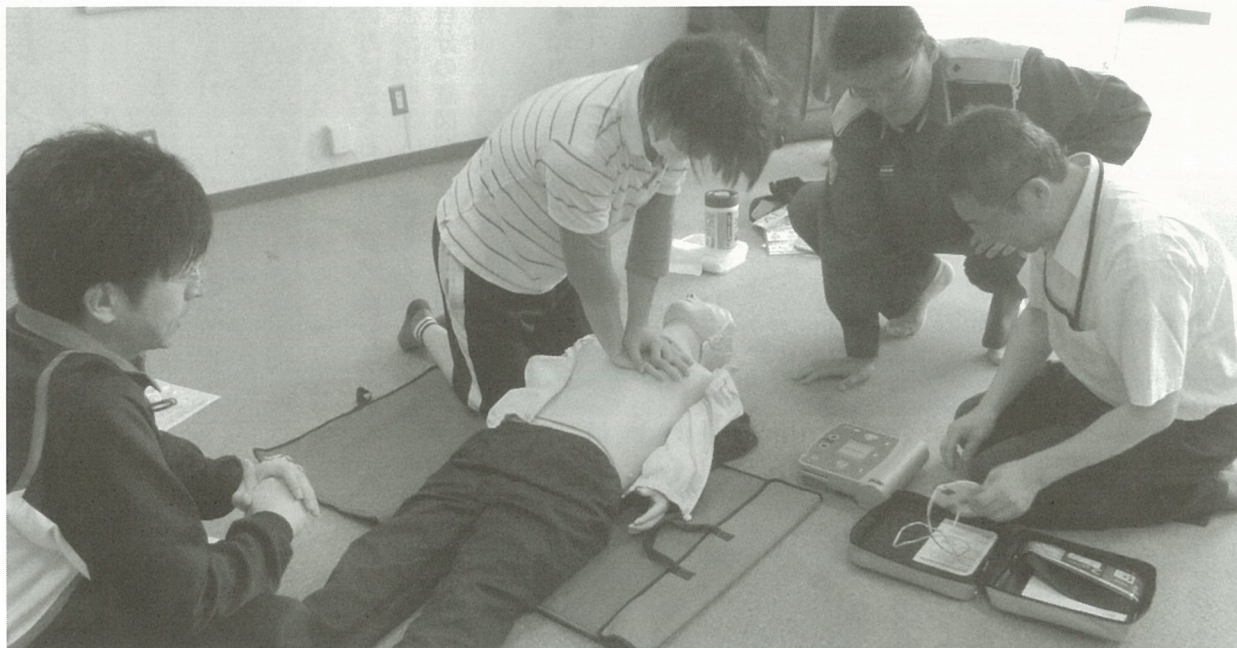


あ ざ み

第111号

発行

社会福祉法人恵風会・あざみ園・あざみ園保護者会

〒930-2102 富山市山田宿坊1-8 / TEL (076) 457-2301 / FAX (076) 457-2303
http://www.knei.jp/~azamien/ E-mail azamien@knei.jp

あざみ園における高齢化の現状

主幹 岩 杉 政 子

あざみ園では平均年齢が男性では43・4歳、女性は49・3歳です。最高齢者が78歳、70歳以上が3人（いずれも女性）、障害者は早く老化が進むと報告されていることを考えると、かなり高齢です。視力や聴力の低下、歩行能力低下で転びやすい、物忘れなど精神機能の低下などが現れます。従来からの障害に伴う生活や社会活動などの制約や制限が、加齢に伴い拡大し、障害の重度化となつて重複します。

あざみ園では大規模改修でトイレの手すりの増加、浴場を広くして、個浴の設置、歩行器の購入で個別対応が出来るようになりました。また、大部屋解消に伴い、ほとんどにベットを導入して、車いすの方も生活しやすいようになりましたが、本来に必要なベットは高さを変更できるベットなので今後導入を考える必要があります。職員の腰痛予防対策としては研修会を受け、用具の購入をし、職員への伝達講習会を開きました。また、摂食嚥下障害の方が増えたり、糖尿病や腎障害、高血圧などの病気が発病して、病態特別食や形態特別食が増えて、体調管理が重要な利用者が増えています。ようやく2月から看護師が2人に増えました。看護師・栄養士・支援員・保護者との連携を大切に個人にあつたより良い支援が出来るように努めたいです。

いつまでも同じ環境で暮らせるのが幸せと言いますが、限られたスペースの中で、ゆっくり動いている高齢者とスピードの速い若い人達との混在は危険が伴うこともあり、転倒しても怪我のしにくいソフトな床に変更するなどの安全面で一層の配慮が必要になってきます。時には同じ高齢者がゆつたりできる環境がより本人たちの生活の質を上げられるのではないかと考えることもあります。本人にとって何が幸せか？少しでも近づけるように考えていきたいと思えます。

富山市新規採用職員支援体験実習

6月8日から19日にかけて、福祉施設体験実習が行なわれ、51名の方々があざみ園で実習されました。お寄せいただいた感想文をいくつかご紹介いたします。

◆初めてのパン作りでは生地が上手くまとまらず、利用者さんからのアドバイスで1つずつ作ることができました。みなさん、元気な方ばかりで緊張していたことを忘れるくらい楽しい時間を過ごすことができました。

この機会を通して、自分が得意・不得意な事を知り、自分のできることをお互いに補う事の大切さを、身をもって体験できました。当たり前だけれども、難しく思う自分もいるので、今後、生かしていきたいと思えます。

情報統計課

◆私は配食班で実習をさせていたいただきました。利用者さんはそれぞれが役割を持ち、強みを生かした活動をしてもらいました。私はその中で、達成感を得たり仲間にお礼を言われたりして、生き生きとしておられる利用者の皆さんの姿が印象に残りました。

社会福祉課

◆実際に体験してみても、入居者の方々と意思疎通を図ることの難しさを痛感しました。まったく喋ることのできな

い方はもちろんのこと、多少は喋ることができると人と接するときもなかなか自分の意図が伝わらずに困ってしまう場面が多々ありました。 保険年金課

◆障がい者の方とこうしてしっかりと触れあう機会は初めてだったので、最初は恐怖という感情が大きかったというのが正直な印象です。なにをしようのか、どう接すればいいのかわからず、あざみ園に着いてからもただずっと立っていることしかできませんでした。ですが、こちらから話しかけるように心掛けると、入園者の方に名前を覚えていただけたり、笑顔でお話できるようにになりました。

私は窓口業務をしています。窓口にはさまざまな方がいらつしやいます。お一人お一人が考えていらつしやることをまず第一に尊重すべきであることこの体験を通して学ばせていただきました。どのような方も必ず自分の意思を持っていらつしやるので、その部分を汲み取れるよう、この体験のときの気持ちを忘れずにこれからも業務に

励みたいと思います。

市民課

◆利用者の方から声をかけて教えていただく場面が多く、むしろ私のほうが助けてもらった体験でした。最低限度の介助を行なうことが一番利用者の方のための介助になると指導員の方に教わり、何でもやってあげる事が大切だと勘違いしていたことに気付かされました。

環境政策課

◆私が担当したクラフト工芸班では、入居者の方々の手際よさにとても驚いた。私も周りのみんなに対抗して一生懸命作業に取り組んだが、そのスピードにはついていけなかった。

中心市街地活性化推進課

◆あざみ園での支援体験実習を終えて、支援される側が何を求めているかを知ることの難しさを学びました。私がお風呂で入居者さんたちの体を洗っていると、喜んでくれているような人、嫌がっているような人がいました。私は人の体を洗ったことは今までに無いです。何気なく毎日体を洗っていますが、これは自分の洗い方であって人はそれぞれに自分の洗い方があることを知りました。支援される側の反応や表情を確認しながら支援する事が大切だと知りました。道路河川管理課

◆職員の方々は利用者さんに対して真剣に向き合い、全てにおいて手助けをするのではなく、出来ない部分を上手

く補っておられました。そして褒めることを絶やさず、常に明るい雰囲気であったことが印象的です。

出納課

◆私は、食品加工班に配属され、パン作りをしました。初めは生地を綺麗に丸めることが出来ませんでした。利用者の方に教えていただき、できるようになりました。また、食器をうまく洗えない方がいましたが、コツを教えると、とても丁寧に洗われていました。できないことも、少しの手助けがあればできるようになるのだと感じました。窓口や街で人に接する時は、初めからできないと思うのではなく、どう手助けをすればよいかを考えたいです。

市民税課

◆今回の体験で、あざみ園の方々の温かさを強く感じました。何から始めたらいいいのか、不安に押しつぶされそうだった私に、会う人みなさんが笑顔で話しかけてくださいました。そのおかげで、私も笑顔を心がけて接することができました。業務上、さまざまな方と触れ合う機会が多い中で、一番基本的で大切なことを、研修を通して改めて学ぶことが出来たように感じました。

保険年金課

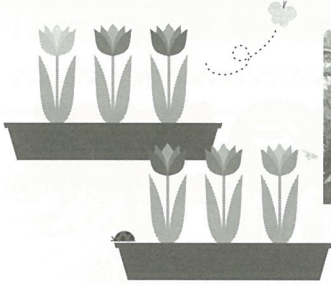


ゆとりの時間

チューリップフェア H27.4.28

ゆとりの時間で砺波チューリップ公園へ行ってきました。

お天気にも恵まれ、春らしい陽気の中いろいろな種類のチューリップにみんな癒されてきました。「かわいいね。」「きれいだね。」とみなさん大満足だったようです!!



いちご狩り H27.5.19

ゆとりの時間でイチゴ狩りの予定でしたが、前日から天候に恵まれず、ファミリーレストランにイチゴ

パフェを食べに行きました。「イチゴ、採りたかったなあ〜」と少し残念な声も聞かれましたが、お店に着いて、メニュー表を見る頃には、表情は一変。みんなあま〜いパフェやイチゴのパンケーキに笑みがこぼれました。



苺のパンケーキ、おしゃれでしょ☆



「おいし〜い♡」

ボウリング

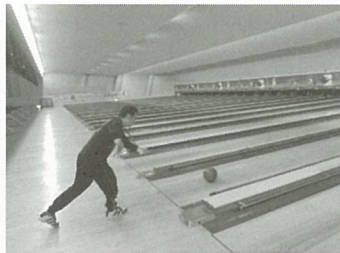
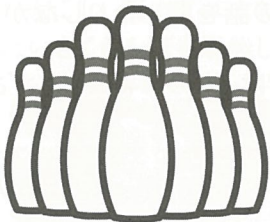
H27.6.4

富山地铁ゴールデンボウルで、ボウリングを楽しんできました。

好みの重さの玉を選び、思い思いの投げ方で上手にピンを倒しました。終わ

った後は、ラウンジで好きな飲み物とおしゃれで美味しいケーキを食べました

♪「運動出来て楽しかった。」「みんなとまた来たい!」と自然と笑顔と言葉が溢れ、「来年もまたしよう!」と意気込みました。



「え〜い!!!」と気合の一投!

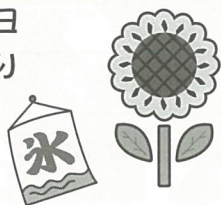


ゲーム後のホッと一息♪

行事のご案内

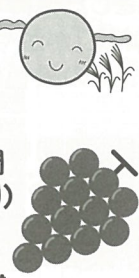
8月の行事

2日...来園日
28日...夏祭り



9月の行事

6日 来園日
8日 ゆとりの時間 (ぶどう狩り)
19日 敬老会
25日 ふれあい育成スポーツ大会



10月の行事

4日...来園日
18日...あざみ園祭



宿泊旅行 第1班

平成27年6月2日(火)
～3日(水)

～京都 日本三景天橋立の旅～

6月2、3日と日本三景の天橋立に行ってきました。2年ぶりの宿泊旅行ということで皆さん、大変に楽しんでおられました。

1日目は、観光バスで移動。「箸のせいわ」にて研磨体験を行いました。みんな悪戦苦闘しながらお気に入りの一膳を作りました。

宿泊先は、天橋立の目の前にある「天橋立ホテル」。温泉あり、宴会あり、大満足でした。

2日目は、メインの天橋立に行きました。天候はあいにく悪かったですが、笠松公園から見る天橋立に感動したり、天橋立の横を遊覧船で渡り、カモメの餌付けを行ったりと大変、満足した2日間でした。



箸の研磨体験♪



宴会で楽しいカラオケ♪



☆ 日本三景 天橋立 ☆



かもめ、たくさん追いかけてくるよ～



ダイオウイカって大きいね!
(新湊きときと市場にて。)



とれたての刺身が美味しい～!!



灘浦温泉「うみあかり」にて

日帰り旅行 第2班

平成27年6月23日(火)

氷見方面

～海の上から立山を眺めようの旅～

あざみ園を元気に出発し、いざ氷見沖クルージングへ!あいにく天気は曇りで、海の上からの立山は残念ながら見られなかったですが、カモメにかっぱえびせんをあげたり、ガイドさんの話を聞いたりしながら、あつという間の船旅でした。

灘浦温泉「うみあかり」では、海の幸を楽しんだあとは、のんびり温泉につかりました。

帰りに、新湊きときと市場でおやつタイム!バスガイドさんおすすめの「クロワッサンたい焼き」は皆さんに好評でした。

日帰り旅行 第3班

平成27年7月2日(木)

長野

～北陸新幹線で行く長野『善光寺』の旅～

出発当日は天候にも恵まれ、晴れ晴れとした気持ちで富山駅へと出発!新しい富山駅を眺めつつ、待望の新幹線「かがやき」に乗車しました!新しい車両はとても乗り心地が良く、外の景色は流れるように過ぎて行きました♪

あつという間に長野駅に到着し、先日、御開帳のあった善光寺を参拝しました。昼食はそばと天ぷらを堪能♪野沢菜入りのおやきにも舌鼓♪

メディアで何かと話題の新幹線に乗り、大香炉の煙を浴びて、美味しい物を食べて…隙間なく楽しい旅となりました!



かっこいい新幹線に、思わず釘付け♪



御利益がありますよ～に☆

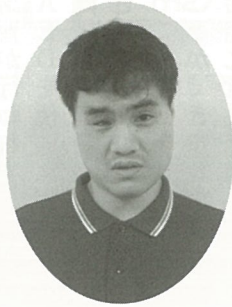


おいしい蕎麦を堪能♪

「赤田ホーム」・「羽根の家」ニュース

新メンバー紹介

川口良明です。羽根の家はうれしい。居室1でテレビをみたり、音楽をきいたりしています。ご飯をたべたり、歯をみがいたり、洗濯物をたたんだりしています。どんぐり工房で一日おきに弁当の配達に行っています。弁当の配達が好きです。午後からは毎日レタスの水ふきをしています。仕事があると楽しいです。



青藤 悟

ケアホーム楽しい

音楽大好き



日曜日コンビニへ行く

グリコポッキー

大好き

AZAMI

グループホーム合同宿泊旅行

6/13、14に長野方面に宿泊旅行に行ってきました。

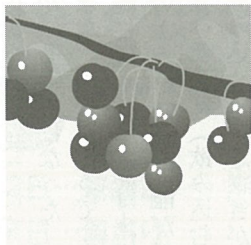
今回は赤田ホームの利用者4名と共に行いました。天気も良く1日目はトレンギャラリーと野猿公苑に行きました。たくさんのミニチュアの電車の模型を見て、皆、興味津々でした。野猿公苑では新緑の杜を歩き、たくさんの野生のサルがいる露天風呂を見て「かわいい♡」と感動していました。ホテルでは温泉に入りのんびり過ごし、宴会では大好きなカラオケを思う存分楽しんでいました。2日目はさくらんぼ狩りを行い、お腹いっぱいさくらんぼを堪能してきました。天候にも恵まれ大変楽しい宿泊旅行でした。



猿がどこにいるかわかるかな？



旅先のご飯っておいしいよね〜♪



美味しそうのみ〜つけた♪



電車好きにはたまりません(^o^)

職員研修参加報告

救急法講習会に参加して

生活支援員 谷本 静香

6月4日、婦中消防署山田分遣所から消防士さんに来園いただき、救命救急法の講習が行われました。講習は人形やAEDを使って実践的に行われ、実際に現場で使用することになったときにはどうしたらいいのか、どういうことはしてはいけないのかを学ぶことができました。参加した職員も活発に意見を出し、それぞれが真剣に取り組んでいました。今回の講習を受けて、私たちの働く現場がどれほど人の命そのものに近い場所にあるのかを感じ取ることができました。実際にいざというときに出会った時、今回の講習を生かすことができるよう、日々意識して利用者の皆さんに向き合っていきたいと思えます。

介護職員

リスクマネジメント研修

生活支援員 柳田 優

6月3日〜4日の2日間にわたって、サンシップとやまにてリスクマネジメント研修を受けさせていただきました。

きました。講義の内容は大きく分けて2つで、(嚥下障害とその対応)と(生活の質の向上とリスクマネジメント)についてでした。講義の内容がとても盛りだくさんでしたので、今回は嚥下障害についてポイントを絞って報告したいと思います。

『嚥下障害とその対応』

講師：高志リハビリテーション病院

医療局長 木倉敏彦 氏

まず言われたのは、「40歳を過ぎたら嚥下能力は衰える。」健常者でもそうなので、障がいを持っている方はさらに衰えが顕著にできるかもしれません。実際、あざみ園でも平均年齢が50歳に及ぼうかという状況なので、分かりにくいですが実は衰えてきている利用者の方は結構いるかもしれません。判断の一つの基準として試されたのが、「喉頭蓋」の動きです。「喉仏の少し上に指を置いて、唾をのむ」。通常であれば、指に喉仏の動きを感じ、元気な人であれば指を乗り越えるようにして喉仏が動きます。嚥下能力が衰えてくると、喉仏の動きが小さくなり、つばを飲み込むタイミングと喉仏が動くのに時間差が生じてくるという事です。そういった問題を防いでくれる・軽

減してくれるのが「トロミ剤」です。トロミ剤によって食材はあまり嚥まなくても飲み込みやすい形状になり、食道を通り過ぎる食材のスピードもゆっくりになります。気管支への門をふさぐ反応が遅くなった人でも、食材が気管支に入る前に弁をふさぐ時間稼ぎが出来るということです。

しかし、トロミなら安心と思っていた後に、先生に言われたのは「トロミも万能ではありません。むしろ危険な事もあります。」という言葉でした。粘り気が強すぎると、咽頭内に食材の残留が増える事もあるからで、トロミに代わって先生のおすすめは『ゼリー食』でした。

- (ゼリー食の勧め)
1. 嚥まなくても押しつぶすことができる。
 2. 粘り気が強すぎないので、残留しにくい。
 3. 水分と分離しにくい。
 4. のどを通り過ぎる際、変形しながら一塊で通り過ぎてくれる。
 5. 密度が均一である。 など

*注 ゼリー食から再び普通食に戻すことも、もちろんあります。

また、先生の話の中で高齢者の嚥下能力の低下の見極めとして、食欲(好きな物を食べなくなる。)減退や食事時間のことを紹介されました。今まで食べていた好きな物を残したり、買おうとすらしなくなったりしたら注意が必要です。食事時間については「今まで20分程度であったの

に40分かかるといった。」「食事の席に着くまでにずいぶん時間をかけるようになった。」など

また、誰でもそうですが、「飲み込む際には、必ず息は止まる」。高齢者のように心肺機能が低下してくると食べるのに(飲み込むのに)一息では飲み込めず、息継ぎが必要になってきます。そうすると必然的に食事時間は長くなってしまおうのです。

最後に、もう一つ先生が危険視していたのが、SA(むせのない誤嚥)です。むせることは体の防衛反応であり、それもなくて誤嚥している場合は、肺炎や発熱に繋がりとっても危険です。簡単なチェック方法はありませんが、SAなんかになってくると見抜くことがとても困難です。異変(咳や熱、食事時間、摂取量、口内の残留)があったら、ぜひ『高志リハビリ病院の嚥下外来』を訪ねてほしいと話を締めくくられました。

今回の講義は、高齢化が深刻化する施設にとって、本当に「聞きたかった！」と言える内容でした。実際の講義では、喉を通り過ぎる食材や、喉頭蓋の動きを映像でも確認することができ、「なんでむせるのか？」という症状をとんでもわかりやすく視覚化していただきました。今回の研修を参考に、利用者の方々の小さな変化、異変に気付き、少しでも要介護にならないよう支援していきたいと思えます。

保護者会コーナー

あざみ園に入所して

あざみ園保護者 山岸 一子

(川口良明祖母)

あざみ園へ入所させていただきありがとうございます。働く喜びとゆとり有る生活を提供していただき感謝しております。現在は何事もなく過ごさせていただいております。ありがとうございます。ございます。

新年度を迎えてから、私達の人生の中では、生きて行く一歩が始まったと思っております。目の不自由な本人ですが、これまでに恩師や福祉生活介護の方々、数えきれない人々様のお世話になった事で頭が下がる思いです。お陰様で自分なりに行動しているようです。本人の趣味は音楽とパソコンで、自分で出来る範囲内で楽しくしております。

音楽が好きなので、現在ラブバンドで月二回の日曜日、北日



福島菊の里まつりにて演奏

本新聞社に練習に行っております。ラブバンドでは韓国やハワイなどへ演奏に行き、平成二十五年には東日本大震災の被害者を励まそうと、復興の願いを込めてメロディーを響かせてきました。被災地で勇気を届けられた思いを振り返っております。災害で亡くなられた方のご冥福を祈り、これからの人生を感謝の思いで生きることを心掛けていきたいと思っております。



コ★ラ★ム

我が家の庭の木に
鳥の巣を見つけました
長く住んで初めての事
なぜかうれしく思います
夕方になると
ピーピーと鳴く声が聞こえます
親を呼んでいるのでしょうか
ほほえましく感じました



M
K



東方の被災地で
美空ひばりのひめゆりの塔前にて

入所して初めてのあざみ園の親子遠足、楽しく感じて来ました。お昼の昼食会には大勢の人達でびっくりしました。さすがあざみ園だと思いました。料理もたくさんおいしかったです。ありがとうございます。

これからも明るく元気で前向きに生きたいと思っております。よろしくお願いいたします。



職員の人

私の好きなこと

館谷 明彦 園長編

私の好きなことは、三味線を弾くことです。越中八尾といえば、「おわら」そして「曳山」の伝統行事があります。「おわら」は踊り、唄、楽器で構成され楽器は三味線、胡弓、太鼓があり、それぞれに役割分担があります。三味線は「おわら」のベースとなるリズムを刻みます。三味線奏者は複数いますが、そのリーダーは「タテ」と呼ばれ、唯一掛け声をかけます。また、「曳山」には曳山囃子があり、横笛、三味線、大太鼓で構成され、曳山の囃子は、曳山を保有する6町内でそれぞれに各10数曲あり、曳山の運行に併せて優雅に奏でられます。

さて、私が三味線を始めたのは26歳の時です。35歳のキャリアアがあります。三味線を初めたのは、当時「おわら」の踊り手は25歳で卒業でしたから、何かその後も「おわら」に携わりたいとの思いから、先輩に進められて三味線を始めました。

当時は、高価な三味線を準備できませんから、先輩の初心者用の稽古三味線を借りて、毎夜「ボンボン」と不協和音を出しながら、子供が夜泣きすると妻に怒られながら練習していました。

ある程度、弾けるようになると「出稽古」と呼ばれる、他町の三味線の師匠を紹介されて「おわら」の

三味線を仕込まれます。私は、最初の師匠には3年間、次の師匠には5年間お任せしました。今でも、師匠とは年に数回手合せをしています。最後に、三味線の手が上がった（上達）私に、師匠は「おわらの心を忘れないように」と忠告がありました。伝統行事は一人ではできないこと。みんなの和や協力が大切なこと。それぞれの立場を認め合い、一体感や絆が生まれるような楽しい環境を作りながら、今後多くの仲間を作るよう示唆された。と今になって思います。



写真は、平成26年10月25日から28日に開催された富山市台湾観光プロモーション事業の出演写真です。新光三越高雄三多店玄関前

今回は常本支援員編です。お楽しみに!!

あざみ園へ来園された皆さん

(平成27年5月〜7月) (敬称略)

- ・農業生産法人 榎健菜堂
- 取締役 高堂 祐介 他1名
- ・恵風会監事 早川 宣義
- ・恵風会監事 高城 繁
- ・富山市職員研修所 高田 まどか
- ・富山市新規採用職員 51名
- ・富山新聞社
- ・恵風会理事長 野尻 昭一

善意の心

ありがとうございます

(平成27年5月〜7月) (敬称略)

- ・上農 俊子
- ・田中 清美
- ・中村 しづ江

ボランティア

ありがとうございます

(平成27年5月〜7月) (敬称略)

- ・関 由美子 (食品加工)
- ・澤村ひろみ (食品加工)
- ・杉江まさみ (食品加工)
- ・葛原 仁美 (食品加工)
- ・道下 和美 (音楽療法)
- ・中野 裕子 (音楽療法)
- ・山本 明美 (アクアクラブ)
- ・大瀬 春江 (手工芸クラブ)
- ・石田すみ子 (手工芸クラブ)
- ・谷井美智子 (手工芸クラブ)
- ・日赤奉仕団 (シーツ交換)
- ・清水 純子 (どんぐり工房)
- ・大谷矢辰則 (笑いヨガ)



実習生

○富山大学

平成27年6月29日〜7月3日 1名

○富山国際大学

平成27年7月6日〜7月10日 1名
平成27年7月13日〜7月17日 2名

赤ちゃん誕生

7月3日

松本支援員に、長男「啓汰(けいた)」くんが誕生しました。おめでとうございます。

お知らせ

「平成27年度競輪公益資金による体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に関する補助金」の内定の受託に基づき、あざみ園の外壁等補修工事に着手いたします。皆様には、しばらくの間ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

編集後記

韓国で「MERS(マーズ)」が流行しました。過去に、同じような「SARS(サーズ)」というウイルスが猛威を振るいましたが、マーズは更に恐ろしいウイルスです。目に見えないウイルスや菌の繁殖はほんとに怖いですね。財布の中の「金」が増えるのなら嬉しいのですが。。。